

## 2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330431093	音楽科教育法 Methods in Teaching Music	永津 利衣			2	選択	3前期

## 科目の概要

DP1・3・5を踏まえ、音楽科教育の意義および小学校学習指導要領に示された音楽科の目的を理解した上で、その指導方法を修得することを目的としている。小学校音楽科教科書を使用しながら、「A表現」「B鑑賞」領域の教材曲を中心に体験しながら教材研究を行い、それを授業に具体的に展開する手立てを学ぶ。学習指導案の作成と模擬授業を通して、指導を展開するために必要な実践力を育成する。

学修内容	到達目標
① 学校教育における音楽教育の意義および小学校音楽科の目的と内容を知る。 ② 「A表現」「B鑑賞」の教材研究を行う。 ③ 教材研究をもとに授業を計画し、模擬授業の実践を通して、音楽科の指導方法を実践的に理解する。	① 学校教育における音楽教育の意義および小学校音楽科の目的と内容を説明することができる。 ② 「A表現」「B鑑賞」の教材研究の方法を習得し、授業計画に活用することができる。 ③ 授業計画と模擬授業を通して、音楽科の指導方法を提案することができる。

## 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

## 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	授業のねらいを理解し、演奏や指導の技術を向上させるために主体的に活動に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	計画を基に見通しを立て、練習や発表ができる。
考え抜く力	課題発見力	自己や他者の授業案、模擬授業、表現等から課題を見つけることができる。
	計画力	
	創造力	どのようにしたら音や音楽、言葉で自分の思いや考えを伝えることができるのか考えることができる。
チームで働く力	発信力	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に対して音や音楽、言葉で表したり、伝えたりすることができる。</li> <li>批評した音や音楽について、知覚・感受した根拠を基に発表することができる。</li> </ul>
	傾聴力	他者の意見を受け止め、自分の考えを捉え直すことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	授業のルール（締切等）を守ることができる。
	ストレスコントロール力	

## テキスト及び参考文献

新版小学校 音楽科教育法（教育出版）、小学校学習指導要領解説（音楽編）  
 その他、適宜配布する。

## 他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：本科目は、専門科目の教科及び教科の指導法に関する科目の一部である。「音楽科研究」や他教科等において獲得した知識・技能を活用し、その後の「児童音楽」で教材研究等を発展させる。  
 資格との関連：小学校教諭一種免許

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽科教育で期待される資質・能力を育成するためにどのような授業をするのか、実践やディスカッションを通して考えていく力を養ってほしい。</li> <li>幼小接続を踏まえ「こども表現（音楽Ⅰ・Ⅱ）」や「音楽科研究」を単位認定されていることが望ましい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>科目の性格上、基本的にすべて出席する。ただし、やむを得ない事由による欠席および遅刻・早退等の取り扱いについては、本学の学則等に則って判断する。</li> <li>準備物：ソプラノリコーダー（小学校で購入したものでよい。新たに購入する場合はアウロス製または鈴木楽器製を推奨する。）、鍵盤ハーモニカ（持っていない方は、唄口を購入する） 指示があった時間に持参する。</li> </ul>

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①						
				②						
				③						
	平常評価	小テスト		0	①					
					②					
					③					
		レポート		30	①	✓				レポート (獲得) 音楽教育の意義、小学校音楽科の目的と内容 (20%) (活用) 「A表現」「B鑑賞」の教材研究 (40%) (解決) 授業計画の立案 (40%)
					②	✓				
③					✓					
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		60	①				模擬授業 (獲得) 指導案の作成 (20%) (活用) 指導案に基づいた模擬授業の準備と実施 (50%) (解決) 模擬授業の省察 (30%)			
			②	✓						
			③	✓						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓			(主体性) 授業のねらいを理解し、演奏や指導の技術を向上させるために主体的に活動に取り組むことができる。 (実行力) 計画を基に見通しを立て、練習や発表ができる。 (課題発見力) 自己や他者の授業案、模擬授業、表現等から課題を見つけることができる。 (創造力) どのようにしたら音や音楽や言葉で自分の思いや考えを伝えることができるのか考え表現することができる。 (発信力) ・課題に対して音や音楽、言葉で表したり、伝えたりすることができる。 ・批評した音や音楽について、知覚・感受した根拠を基に発表することができる。 (傾聴力) 他者の意見を受け止め、自分の考えを捉え直すことができる。 (規律性) 授業のルール（締切等）を守ることができる。		
				②	✓					
				③	✓					
総合評価割合			100							

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀) レポート、成果発表、社会人基礎力を総合し、90点以上が取得される。 A(優) レポート、成果発表、社会人基礎力を総合し、80～89点が取得される。	B(良) レポート、成果発表、社会人基礎力を総合し、70～79点が取得される。 C(可) レポート、成果発表、社会人基礎力を総合し、60～69点が取得される。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション 科目概要や達成目標、 評価方法について理解 する。 ・音楽教育の意義、 「生成の原理」の考え 方について学ぶ。	講義・演習	音楽教育の意義につい て説明することができる。	予習：シラバスを読 み、科目の概要をつか んでくる。 復習：音楽教育の意義 についてまとめる (Googleフォーム)	180	主体性 傾聴力 規律性
2	音楽科の授業の構想 ・学習指導要領の目標 と内容について学ぶ。 ・年間指導計画と教科 書	講義・演習、グループ ワーク	学習指導要領の目標と 内容の観点を理解でき る。	予習：学習指導要領 (音楽科)を読んでく る。 復習：ワークシートを 完成させる。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	A表現 歌唱領域 ・ワークシートの発表 ・各学年の内容と教材 研究、授業の構想、評 価の観点について学 ぶ。	講義・演習、グループ ワーク	歌唱の授業構想をおお むね練ることができる。	予習：グループ発表の 準備をする。 復習：課題に沿って学 習内容をまとめる (Googleフォーム)	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	・A表現 器楽領域 各学年の内容と教材研 究、授業の構想 ※リコーダー持参	講義・演習、グループ ワーク	ねらいに照らしなが ら、[共通事項]との 関連、既習内容、楽器 の特性や演奏方法等を 踏まえて教材研究を行 い、器楽の授業構想を おおむね練ることがで きる。	予習：選択した曲を聴 いてイメージをつかん でおく。 復習：授業の構想をま とめ、選択した曲を練 習する。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	・A表現 音楽づくり領 域 各学年の内容と教材研 究、授業の構想	講義・演習、グループ ワーク	ねらいに照らしなが ら、[共通事項]との 関連、既習内容等を踏 まえて教材研究を行 い、音楽づくりの授業 構想をおおむね練るこ とができる。	予習：選択したテー マのイメージをつかん でおく。 復習：授業の構想をま とめる。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	・B鑑賞 各学年の内容と教材研 究、授業の構想	講義・演習、グループ ワーク	ねらいに照らしなが ら、鑑賞と[共通事 項]との関連、既習内 容等を踏まえて教材研 究を行い、鑑賞の授業 構想をおおむね練るこ とができる。	予習：選択した曲を聴 いてイメージをつかん でおく。 復習：授業の構想をま とめ、選択した曲を練 習する。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	・題材の捉え方と学習 指導案の書き方 これまでの教材研究と 授業構想を基に、学習 指導案を作成する。	講義・演習、グループ ワーク	教材研究と授業構想を 基に、学習指導案を作 成することができる。	予習：指定された指 導案を読み、概要をつか んでおく。 復習：指導案の書き方 のポイントをPCRシー トにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	・A表現 歌唱領域の模 擬授業と振り返り(1)	講義・演習、グループ ワーク	・作成した学習指導案 を基に模擬授業をおお むね実施できる。 ・適切な観点で振り返 りをまとめることがで きる。	予習：学習指導案を作 成し、模擬授業の準備 をする。 復習：模擬授業の振り 返り、授業構成や指 導法の改善をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	・A表現 歌唱領域の模擬授業と振り返り(2)	講義・演習、グループワーク	・作成した学習指導案をもとに模擬授業をおおむね実施できる。 ・適切な観点で振り返りをまとめることができる。	予習：学習指導案を作成し、模擬授業の準備をする。 復習：模擬授業の振り返り、授業構成や指導法の改善をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	A表現 器楽領域の模擬授業と振り返り(1) ※リコーダー持参	講義・演習、グループワーク	・作成した学習指導案をもとに模擬授業をおおむね実施できる。 ・適切な観点で振り返りをまとめることができる。	予習：学習指導案を作成し、模擬授業の準備をする。 復習：模擬授業の振り返り、授業構成や指導法の改善をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	A表現 器楽領域の模擬授業と振り返り(2) ※リコーダー持参	講義・演習、グループワーク	・作成した学習指導案をもとに模擬授業をおおむね実施できる。 ・適切な観点で振り返りをまとめることができる。	予習：学習指導案を作成し、模擬授業の準備をする。 復習：模擬授業の振り返り、授業構成や指導法の改善をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	A表現 音楽づくり領域の模擬授業と振り返り(1) ※リコーダー、鍵盤ハーモニカ持参	講義・演習、グループワーク	・作成した学習指導案をもとに模擬授業をおおむね実施できる。 ・適切な観点で振り返りをまとめることができる。	予習：学習指導案を作成し、模擬授業の準備をする。 復習：模擬授業の振り返り、授業構成や指導法の改善をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	A表現 音楽づくり領域の模擬授業と振り返り(2) ※リコーダー、鍵盤ハーモニカ持参	講義・演習、グループワーク	・作成した学習指導案をもとに模擬授業をおおむね実施できる。 ・適切な観点で振り返りをまとめることができる。	予習：学習指導案を作成し、模擬授業の準備をする。 復習：模擬授業の振り返り、授業構成や指導法の改善をまとめる。	180	主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	B鑑賞 の模擬授業と振り返り	講義・演習、グループワーク	・作成した学習指導案をもとに模擬授業をおおむね実施できる。 ・適切な観点で振り返りをまとめることができる。	予習：学習指導案を作成し、模擬授業の準備をする。 復習：模擬授業の振り返り、授業構成や指導法の改善をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	音楽科教育法の総括教材研究、学習指導案作成と模擬授業を振り返り、①音楽科教育の意義および目標、②指導方法について確認する。	オンライン	音楽科の指導方法について要点をおおむねまとめることができる。	予習：これまでの授業のプリントや教科書を振り返る。 復習：出された課題曲について教材研究を行い、授業を計画し、学習指導案を作成することができる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力